平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ７９ ※記入不要	提案機関名	津久井地域農業改良普及センター

要望問題　ゆで豆用ラッカセイの良食味品種の選定

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

【背景】
　津久井郡には約２０ケ所の共同農産物直売所があり、行楽客等を対象にして直売が盛んに行われている。今後も直売の振興を図るためには、販売品目の多様化や地域特産物の育成が必要である。販売品目は野菜・果実等の青果物が中心であり、ラッカセイのゆで豆は新たな販売品目として有望と考えられる。ゆで豆用ラッカセイの適品種の選定が必要である。

【内容】
　１　ゆで豆用ラッカセイの品種特性の検討と良食味品種の選定
　２　は種期の早晩による適品種の選定

【対象地域及び規模】
　津久井郡内、規模問わない

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生物資源部
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合） 優良種苗の特性検定試験 （１）優良種苗特性検定試験 エ　畑作物品種の特性検定

対応の内容等

　ゆで豆用ラッカセイの品種選定については上記研究課題により、実施中です。
　いずれのラッカセイ品種でも未成熟のうちに収穫すれば、ゆで豆用になりますが、一般には早生品種「郷の香」、中生品種「ナカテユタカ」が栽培されています。今までの試験研究から、品種および被覆資材活用の組み合わせにより、７月下旬から１０月上旬の収穫が可能です。引き続き、良食味で特徴のある品種を選定します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	